



伊勢市制20周年記念コンサート

伊勢の第九 ～神々も歓喜する～ 合唱団員募集!

日本古来の伝統を今に伝える伊勢の地で、第九と一緒に歌いませんか

2026

1/25日

開演14:00

シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢 大ホール

第1部 伊勢木遣り・和太鼓 他

第2部 「交響曲第9番 二短調作品125」
ベートーヴェン作曲

募集申込期間

7/8日 10:00～
8/11日 祝 17:00まで

指揮 高橋直史 管弦楽 大阪交響楽団

ソリスト [ソプラノ] 小林美咲・[アルト] 布施奈緒子・[テノール] 上ノ坊航也・[バリトン] 村林徹也

※出演者は変更の可能性があります。

参加費 一般8,000円、学生(中学生以上)4,000円

募集人数 計90名程度

ソプラノ30名、アルト30名、テノール15名、バス15名

参加条件

- 中学生以上の方(未成年者は保護者の同意書必要)
- 合唱練習に8回以上参加できる方
(スケジュールは裏面参照、12/21・1/23・1/24のリハーサルへの参加必須、県外の経験者は回数免除の条件あり)
- 第九未経験者は入門講座への参加を必須とします
- 事務局からの連絡を、メールで受け取れる方(メールの送受信困難な方はお問い合わせください)
- 練習会場の設営や後片付けなど、運営に協力できる方



申込フォーム

◆特別企画◆ 第九 de 伊勢詣

県外の参加者に対し、公演翌日に、地域のアテンドと共に伊勢神宮など伊勢の神々を詣でる企画です。(詳細裏面)



申込方法
問合せ先

シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢
会館窓口、電話、申込フォームにて受付
TEL: 0596-28-5105

〒516-0037 三重県伊勢市岩渕1-13-15 (近鉄宇治山田駅より徒歩約2分)

● 定員を超えたパートは募集期間終了後に抽選致します。8/18までにメールにて抽選結果をご連絡 ● 事務局からのメールを受信できるよう受信設定の変更などの対応をお願いいたします

【主催】伊勢市・「市制20周年伊勢の第九」企画委員会・伊勢市観光文化会館 指定管理者 株式会社ケイミックスパブリックビジネス

【助成】公益財団法人 岡田文化財団・公益財団法人 三重県文化振興事業団・一般財団法人 自治総合センター

【協賛】大和ハウス工業株式会社



◆合唱団の練習日程◆

●2025年

第1回	9/23(火・祝)	14:00～17:00
第2回	10/4(土)	14:00～17:00
第3回	10/18(土)	14:00～17:00
第4回	11/1(土)	14:00～17:00
第5回	11/21(金)	18:00～21:00
第6回	12/6(土)	14:00～17:00
第7回(指揮者 リハーサル)	12/21(日)	14:00～17:00

●2026年

第8回	1/4(日)	14:00～17:00
第9回	1/17(土)	14:00～17:00
第10回	1/23(金)	18:00～21:00
前日リハーサル	1/24(土)	
本番	1/25(日)	

練習場所:シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢

指導者:(合唱)野本立人、廣めぐみ

(ピアノ)大久保友加里、西山里和

◆入門講座の日程◆

第九未経験者は受講ください。

●2025年8/23(土)14:00～17:00 9/6(土)14:00～17:00の2回

◆楽譜:各自でご購入(詳しいご案内は会館からご案内させていただきます。)

◆練習場所:シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢

◆指導者:(合唱)廣めぐみ(ピアノ)大久保友加里、西山里和



◆特別企画◆第九 de 伊勢詣 (20名程度)

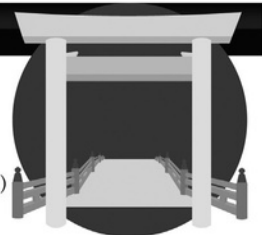
公演翌日に、地域のアテンダントと共に伊勢神宮など伊勢の神々を詣でる企画です。本企画の参加者については、事前練習免除、前日リハーサル、公演当日だけの参加を認めます。

参加条件

※三重県外にお住まいの方で、豊富な第九の合唱経験がある方

※参加費・交通費・宿泊費等はご自身にてご負担いただきます(応募者多数の場合は書類選考を行います)

詳しくは会館までお問い合わせください。表面のQRコードからはお申し込みになれません。



指揮:高橋直史 (大阪交響楽団首席客演指揮者)

東京藝術大学指揮科卒業、同大学大学院修了。ミュンヘン音楽大学大学院指揮科修了。文化庁派遣芸術家在外研修員として渡独後、ブランデンブルク歌劇場客演指揮者、オズナブリュック歌劇場専属指揮者兼コルペティール、エルツゲビルゲ歌劇場音楽総監督及び同交響楽団首席指揮者を歴任し、現在、金城学院大学文学部音楽芸術学科教授。これまでに、新日本フィル、読響、名フィル、セントラル愛知響、大阪響、東響、ミュンヘン響、エルブランド響、アウグスブルク歌劇場、プラハ国立歌劇場、ビルゼン放送響等と共演している。



管弦楽:大阪交響楽団

1980年「大阪シンフォニカー」として創立。創設者である、永久名誉楽団代表・敷島博子が『聴くものも、演奏するものも満足できる音楽を!』を提唱。いつも聴衆を「熱く」感動させるその演奏は、「魂の叫び」「情熱の音」と評されている。

2001年1月に、楽団名を「大阪シンフォニカー交響楽団」に、2010年4月「大阪交響楽団」に改称した。2022年4月、新指揮者体制として、山下一史(常任指揮者)、柴田真郁(ミュージックパートナー)、高橋直史(首席客演指揮者)の3名が就任、さらなる楽団の飛躍が期待されている。

2006年4月、大和ハウス工業株式会社 樋口武男氏(現 名誉顧問)が運営理事長に。その後、2018年11月公益社団法人大阪交響楽団理事長に就任。2020年10月に、理事長職を大和ハウス工業株式会社 芳井敬一氏(現 代表取締役会長/CEO)にバトンタッチした。

◆きやり木遣り◆

伊勢神宮の木遣りは、特に式年遷宮の「お木曳き」で歌われる伝統的な木遣り唄です。木遣りは、重いものを曳く時に歌われ、歌声によって人々を鼓舞し、作業を円滑に進める役割を担います。伊勢の木遣りは、「伊勢音頭」のルーツの一つとも言われています。